



社協だより

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会

第95号



楽しく遊びを届けます
青空児童館活動

佐世保市社会福祉協議会が運営している児童センターでは、小学生や幼児・親子を対象に様々な遊びを提供しています。

子ども会など児童の健全育成を推進する団体からのご要望により、青空児童館をご希望の場所で開催することもできますので、お気軽にお問合せください。

◆青空児童館 提供内容◆

①遊びや工作の指導（職員が出向いて遊びや工作の指導を行います。（例：レクリエーション・簡単工作・ペンシルバルーン等）②遊びや工作の事前指導（ご要望があれば、遊びのノウハウや工作の製作準備を教えることも可能です。③遊具の貸し出し（輪投げやオセロなどの遊具等をお貸しします。）

●児童センターの問合せ先

相浦 ☎47-2323 山澄 ☎31-2557 早岐 ☎38-1152 大野 ☎40-9345
稲荷 ☎34-1152 広田 ☎39-5366 春日 ☎25-3785 黒髪 ☎34-0700
宇久 ☎0959-57-3132

第95号内容

- 1 ふれあい・いきいきサロン推進中
- 2 福推協通信（白南風・大野地区）
- 3 生活困窮者自立相談支援事業がはじまりました
- 4 社協の生活福祉資金をご活用ください
- 5 平成26年度社協事業報告
- 6 社協会員加入のお願い
- 7 新任職員紹介
- 8 地域福祉かわら版「よもーで」発行中
- 9 サマーボランティアキャンペーン2015参加者募集
- 10 市民の皆様からのQ&Aコーナー
- 11 善意のご芳志ありがとうございました
- 12 Let'sあたまのストレッチ
- 13 暮らしに役立つ「ふくし情報ガイド」をぜひご活用ください



ふれあい・いきいきサロン推進中



「ふれあい・いきいきサロン」は、地域住民（高齢者、子育て親子、ボランティアなど）が気軽に集い、ふれあいを通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げていく活動です。

今、「気軽に」「楽しく」「無理なく」を合い言葉に佐世保市社会福祉協議会では、地域住民の皆さんの集いの場として「ふれあい・いきいきサロン」活動を推進しています。

現在市内には、57カ所（平成27年3月末現在）のサロンが開設されており、さまざまな取り組みが行われています。

今回は、サロン活動の内容や活用できる遊具（無料）、補助金等についてご紹介いたします。

活動内容の一例をあげますと、レクリエーション（遊具を使ったゲーム等）、歌、会食、茶話会、健康体操、趣味・特技の発表、健康相談・チェック、季節の行事、世代間交流、読み聞かせ、ミニ講座など多岐にわたって活動されています。

遊具を使ったレクリエーションについては、社協が遊具の貸し出しを行っており、多くの方が利用されています。

友・遊ボウリング、輪投げ、スカットボール、室内ペタンク、釣りっこなど全部で37種類の遊具を無料で貸し出しています。サロン活動をはじめ町内会、子ども会などの地域福祉活動等にぜひ活用してください。

申し込み方法等につきましては、社協ホームページをご覧ください。直接社協までお気軽にお問い合わせください。

また、今からサロンの新設を検討されている地区や町内会等におかれましては、立ち上げ準備に要する経費の一部を、また、新設されたサロン（平成26年度から活動開始）については、サロン活動が軌道に乗るまでの間（開始年度とその翌年度まで）活動費の一部支援等も行っております。

いずれもお住いの地区の福祉推進協議会（福推協）を通じての申請となります。

対象となる条件等もありますので、詳しくは社会福祉協議会までお尋ねください。

サロン活動の効果とは？

一、生きがいづくり

自分の居場所があり、サロン活動の中で自分の役割を持つことにより、充実感が得られます。

二、仲間づくり

地域の住民が集うサロンでは、悩みを共有したり、相談し合えたりして、そこが仲間づくりの拠点になります。

三、閉じこもり防止

家から出て、いろいろな人とふれあうサロンに参加することによって、楽しみができ、閉じこもりの防止になります。

四、介護予防

特に高齢者にとっては、他の参加者と接することで刺激を受けたり、レクリエーションなどの軽い運動をすることによって、生活にメリハリができ、介護予防の効果が上がります。



福推協通信

～地域の情報をお届けします～

市内33地区に設置された福祉推進協議会（略称：福推協）では、各地区の特色を活かした地域福祉活動が行われています。今回は、白南風・大野地区の取り組みを紹介します。

白南風地区

白南風地区は、佐世保市の中心部に位置し、北に烏帽子岳、西に弓張岳・将冠岳を仰ぎ、南に佐世保港を見下ろすことができる素晴らしい眺望に恵まれた地域で、三浦町・白南風町、峰坂町・須田尾町・山祇町の5町からなり、現在約3千世帯、6千人程が住んでいます。

この地区は、国道35号線沿いの白南風町・三浦町が佐世保駅を中心として佐世保の玄関口にふさわしい発展を遂げている一方で、昔の平戸往還（街道）沿いにある峰坂・山祇・須田尾の各町には、往還にまつわる数々の言い伝えがあるほか、樹齢700年の椋木（天然記念物）を境内に持つ山祇神社があるなど、歴史を感じる地区でもあります。このような白南風地区において白南風地区福推協は、「みんなでつろう！よかこ白南風」を目標に掲げ、安心して暮らせる福祉のまちづくりに向けた取り組みを実施されています。ここでは、その一部を紹介します。

ふれあいネットワーク活動の推進

一人暮らしの高齢者などが地域で安心して暮らせるように、近隣住民の皆さんの協力による見守り活動を実施されています。



独居高齢者へ暑中見舞いハガキを送付

75歳以上の一人暮らしの高齢者、約300名に対し真心を込めたハガキを作成し、送付されています。



「巡回・福祉ミニ講座」の開催

住民を対象とした「福祉ミニ講座」を開催し、地域福祉に対する地域住民への意識啓発を図ってられます。



大野地区

大野地区は、佐世保市の北部に位置し、相浦川の中流沿いに広がる、南北を山に囲まれた美しい景観に恵まれた自然豊かな地域です。

先史時代から人が暮らしていた跡が今も残り、泉福寺洞穴・岩下洞穴は今から1万年以上前の人々の居住跡で、多くの遺物が出土しています。

戦後は、ベッドタウンとなり多くの住宅が建ち、現在では約8千世帯、2万人近い人々が大野地区に住んでいます。

また、教育施設も充実し、小学校から高校まで歩いて通学できる学園地区となっています。

近年は、東部の矢峰・松原地区の発展が目ざましく、大きな団地や高層アパートが林立したほか、大型の商業施設も立ち並び、多くの買い物客でにぎわっています。

このような大野地区において、大野地区福推協では、「ひとよし まちよし 明るい大野」を目標に掲げ、ちびママ倶楽部による子育て支援活動や一人暮らし高齢者等を対象とした「ふれあいネットワーク活動及びふれあい食事サービス」、小中学生への見守り活動である「あいさつボランティア」「ふれあいボランティア」活動等に取り組んでられます。ここでは、その一部を紹介します。



ちびママ運動会で大盛り上がり



犬の「さすけ」も見守りボランティア活動に「役買」つてます。

生活困窮者自立相談支援事業をご存知ですか？

近年、経済的困窮、または社会的孤立の状態にある人々が増加しています。こうした生活困窮状態にある人々を支援していくため、平成27年4月に「生活困窮者自立支援法」が施行されました。

佐世保市社会福祉協議会では市からの委託を受け相談窓口を開設し、「生活困窮者自立相談支援事業」に取り組んでいます。仕事や生活のこと等に困っておられる方、まずはお相談ください。相談窓口では、一人ひとりの状況に合わせた支援計画を作成し、専門の支援員があなたに寄り添いながら、他の専門機関と連携して、問題解決に向けた支援を行っていきます。

対象となる方

「お金がなくて生活が苦しい」、「家族が引きこもりや不登校で心配がある」「社会とのつながりが無く孤立した生活を送っている」など、生活上の困難に直面している方。

支援内容

来所による相談受け付けや、ご家庭への訪問支援も行います。抱える課題を把握し、他制度・他機関へのつながりも含めて、自立に向けた計画を立て継続的に支援していきます。

相談受付

受付時間／月曜日～金曜日 8:30～17:15
(祝日、12月29日～1月3日を除く。)

☎0956-23-0265 (電話は24時間365日対応)
秘密厳守で相談は無料です。



社協の生活福祉資金をご活用ください

■生活福祉資金とは

この制度は、低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度です。

■実施主体

長崎県社会福祉協議会

■貸付対象

この制度は、ご本人及びその世帯が経済的に自立した生活を送っていただくことを基本とし、そのうえでなお不足する生活費を資金面と経済的自立に向けた相談に応じることで支援しています。またあわせて、返済していただく必要があることから、貸付を行うにあたっては一定の条件を満たしている必要があります。

この条件は、貸付の種類によって違いがありますので、詳細は佐世保市社会福祉協議会又は長崎県社会福祉協議会のホームページでご確認ください。

■問い合わせ先

佐世保市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL:23-3174/FAX:23-3175

受付時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
(祝日、12月29日～1月3日を除く)



平成26年度 佐世保市社会福祉協議会事業報告

平成26年度に取り組んだ主な事業

○各地区福祉推進協議会（福推協）との連携・支援

第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、関係機関の助言や協力をいただきながら、福祉推進協議会会長連絡会や先進地視察研修会を始めブロック別研修会を開催し、福推協との連携強化や活動の活性化に取り組みました。各地区で「ふれあいいきいきサロン活動」の意義や必要性について、事例を基に説明し開設への働きかけを行ったほか、既存のサロンや自主活動グループに対し、職員による訪問支援や、各サロン同士の情報交換会等を実施し活動の活性化に努めました。また、「いきいきサロン」の立ち上げ等については、新たに活動支援のための活動費補助事業を設けるとともに積極的に働きかけを行い、新たに実施する福推協を増やすことができました。

○要支援者の権利を擁護するための取り組み

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方が、住みなれた地域で安心した生活が送ることができるよう「させば成年後見センター」を開設いたしました。成年後見制度は、家庭裁判所が選任した成年後見人等が財産管理や福祉サービスの契約等を本人の代わりや本人を援助して行う制度です。県北地区では初めてとなる取り組みとなりました。

○包括的・継続的な日常的見守り・生活支援

経済的な問題を抱える人や社会とのつながりを持たない、ニート・ひきこもり・独居高齢者などを支援していくため、「生活困窮者自立促進支援モデル事業（市委託）」を実施いたしました。これにより、専門のスタッフを配置し相談窓口の設置、生活困窮者の把握、自立支援計画の作成、自立支援計画調整会議の開催などを行い、対象者に寄り添った支援を行いました。

○地域活性化事業

高齢化、過疎化が進む黒島地区の活性化に向けて、継続して「黒島ハッピーカフェ」（地域共生サロン）の活動支援を行ったほか、「黒島地区保健・医療・福祉連携会議」を立ち上げ、島内独自の介護予防活動等の推進を行いました。

○ボランティア・市民活動の推進

ボランティアセンターにおいて、市民に対しボランティアやNPO・市民活動への参加を広く呼びかけるとともに、「災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を開催し、災害ボランティアセンター運営マニュアルを作成いたしました。また、災害に備えて災害ボランティアセンター設置運営訓練及び研修会を実施しました。

○福祉教育・人材育成

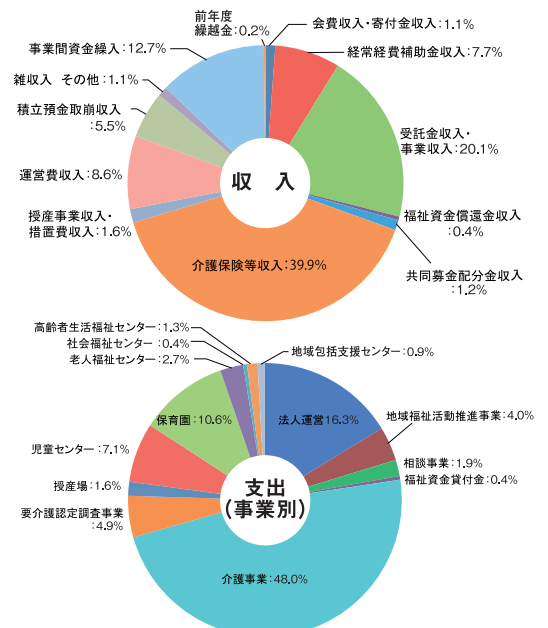
地域を基盤とした福祉教育を推進していくための「ふくし教育実践マニュアル」を作成するため、策定委員会と4部会を開催し、策定に向け協議を行なったほか、各小中学校へ職員を派遣し、「ふくし教育」への支援を行ないました。

○活動啓発・情報収集及び提供

「社協だより」、ボランティア・NPO関係広報紙「くれよん」、「社協だよりかわら版よもー」の発行をはじめ、社協ホームページを全面的にリニューアルし、社協の事業や活動について、随時情報発信できるように努めました。また、各種福祉サービスに関する情報や、NPO等市民活動団体の情報を「くらしに役立つ福祉情報ガイド」としてインターネット上にわかりやすく整備し、誰もが閲覧利用できるようにしました。

平成26年度決算

収入	決算額(円)	割合	支出(事業別)	決算額(円)	割合
会費収入・寄付金収入	20,792,072	1.1%	法人運営	297,546,593	16.3%
経常経費補助金収入	140,043,921	7.7%	地域福祉活動推進事業	73,871,108	4.0%
受託金収入・事業収入	368,206,598	20.1%	相談事業	35,162,267	1.9%
福祉資金償還金収入	7,843,200	0.4%	福祉資金貸付金	7,986,800	0.4%
共同募金配分金収入	21,739,123	1.2%	介護事業	878,253,280	48.0%
介護保険等収入	730,332,553	39.9%	要介護認定調査事業	89,497,875	4.9%
授産事業収入・措置費収入	28,873,692	1.6%	授産場	30,009,650	1.6%
運営費収入	156,742,430	8.6%	児童センター	129,138,424	7.1%
積立預金取崩収入	100,500,000	5.5%	保育園	193,139,686	10.6%
雑収入 その他	20,946,696	1.1%	老人福祉センター	50,228,920	2.7%
事業間資金繰入	231,630,258	12.7%	社会福祉センター	7,995,787	0.4%
前年度繰越金	3,516,529	0.2%	高齢者生活福祉センター	22,827,245	1.3%
		0.0%	地域包括支援センター	15,509,437	0.9%
収入合計	1,831,167,072	100.0%	支出合計	1,831,167,072	100.0%



佐世保市社会福祉協議会会員加入のお願い



年会費

◎一般会員(各世帯)	200円
◎賛助会員(個人)	1,000円
◎団体会員(福祉機関・団体・施設)	5,000円
◎特別会員(個人)	5,000円
◎特別会員(企業・事業所)	10,000円

※会員募集強化月間 7月1日～9月30日

佐世保市社会福祉協議会(社協)では、地域福祉活動に賛同していただける会員を募集しています。

皆さまからいただいた会費は、佐世保市の地域福祉を推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てられています。「誰もが安心して暮らせる福祉のまち」を実現させるために、地域福祉のサポーターとして本会の活動趣旨にご賛同いただき、会員としてご協力くださいますようお願いいたします。



サマーボランティア・キャンペーン2015 参加者募集!!

子どもから大人まで誰もが気軽にボランティア活動に参加できる「サマーボランティア・キャンペーン」が今年も開催されます。だまっても汗をかく夏。ボランティアでいい汗流してみませんか?

体験期間

7月1日～9月30日の間で受け入れ施設の定める期間

体験場所

県内の社会福祉施設等

体験内容

- ・施設利用者とのふれあいや介助等の手伝い
- ・施設行事への参加、協力による利用者とのふれあい
- ・ボランティア団体、当事者団体等との共働活動等

その他

- ・体験活動の諸経費(ボランティア活動保険、交通費、昼食代等)は、原則として参加者の負担となります。

問い合わせ先

佐世保市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL:0956-23-3905
佐世保市社会福祉協議会 TEL:0956-23-3174



新任職員紹介

佐世保市社会福祉協議会地域福祉課に、新しい仲間が入りました。二人とも、やる気満々です。皆様の地域にもどんどん出て行きますので、何でもお気軽に声をかけてください。



やまもと なつこ
山本 菜都子



いまい しんご
今井 信吾

地域福祉かわら版「YOMO-DE(よもーで)」発行中

社会福祉協議会では、若い世代を含めたさまざまな世代の方々に地域福祉を知るきっかけとなることを目的として年3回(5月・9月・1月)、地域福祉かわら版「YOMO-DE!」を発行しています。

佐世保市役所支所・地区公民館、社会福祉協議会等に設置している他、佐世保市社協ホームページでもご覧いただけます。タイムリーな情報やプレゼントクイズもありますので、是非ご覧ください。



市民の皆様からのQ&Aコーナー

Q プルタブ(リングプル)を集めると車いすに交換してもらえるという話を聞いたのですが、本当ですか？

A プルタブがそのまま車いすに変身するわけではありません。収集したプルタブを資源回収業者に買い取ってもらい、そのお金で車いすを購入するという流れです。

業者は回収したプルタブとアルミ缶を溶かして再利用しています。プルタブ600kg集めて、一般的な車いす1台と交換可能となります。

また、車いす以外にも地雷で足を失くした子どもたちのための義足を作るお金の一部になったり、途上国の水道がない学校などに、水道を引く活動のお金にも使われます。



Q 不要になったペットボトルキャップは、ワクチンに変わると聞いたのですが、詳しく教えてください。

A イオン九州では、社会貢献活動の一環としてペットボトルキャップをお客様と共に回収し、そのリサイクル対価を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付し、予防接種を受けられない発展途上国の子どもたちを一人でも多く助けるためのキャンペーンを行ってられます。ペットボトルキャップ約2,000個(約20円)でポリオワクチン1回分になります。

佐世保市内の取扱店は、次のとおりです。

- イオン佐世保ショッピングセンター ☎0956-25-2525
 - イオン佐世保白岳ショッピングセンター ☎0956-20-1800
 - イオン大塔ショッピングセンター ☎0956-27-2222
- ※詳しくは、各ショッピングセンターのサービスカウンターにお尋ねください。



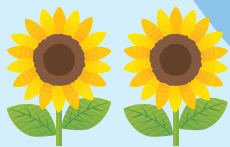
Q 赤い羽根共同募金の赤い羽根の意味はなんですか？

A その昔、ヨーロッパの騎士やアメリカの先住民の間で「勇気の印」「善行の印」としてつけられていた「赤い羽根」。共同募金のシンボルとして使用したのはアメリカが最初で、日本では第2回(昭和23年)の運動から使用するようになりました。現在赤い羽根には、「助け合い」「思いやり」「幸せ」の意味が込められています。



なお、赤い羽根共同募金運動が始まったきっかけは、戦争が終わったばかりで困っている人たちのために、みんなで助け合っとうと行われたのが始まりです。現在は少子・高齢社会を迎え、民間福祉に対する期待の高まりとともに共同募金の重要性がさらに大きなものになっています。





善意のご芳志ありがとうございました

(平成27年2月1日～平成27年5月31日)



【個人】

故 有島ヨシ子様 (原分町) 山下 タエ様 (矢岳町) 故 久野 富男様 (平松町) 楠田 徳保様 (天神5丁目)
 蓮田 芳則様 (日野町) 棗 日出男様 (白岳町)
 辻 岩雄様 (宇久町平) 竹村 カメ子様 (宇久町平) 松坂 勲一様 (宇久町神浦) 川上 光郎様 (宇久町平)
 坪井 要様 (宇久町平) 山内 兼孝様 (宇久町本飯良) 恵村 浩様 (宇久町平) 張本 勝紀様 (宇久町平)
 江口 良子様 (江迎町小川内) 山田 妙子様 (江迎町田ノ元) 森 フサ子様 (江迎町志戸氏) 松田 ツヨ様 (鹿町鹿町)
 塩田 徹様 (山口県防府市)

【団体】

佐世保市立花園中学校第一回生様 伸声会合唱団様 佐世保市教育会様 愛心会 太田弘明様
 骨董市場 I N させば実行委員会 代表 長濱七郎様 さつき会 会長 榎並 昭様

社会福祉協議会では、香典返しの寄付や募金などの一般寄付をいただいております。これらの浄財は、様々な福祉事業に活用させていただいております。また、香典返しをご寄付いただいた方には、挨拶状(忌明け礼状)の印刷をしております(枚数は金額に応じます)。詳しくは、社会福祉協議会までお気軽にお問合せください。

暮らしに役立つ「福祉情報ガイド」をぜひご活用ください!

佐世保市社会福祉協議会では、各福祉サービスに関する情報やNPO等市民活動団体の情報をシステム化し、平成27年4月1日から暮らしに役立つ『福祉情報ガイド』としてインターネット上に整備し、誰でも閲覧利用できるようにしました。

ぜひご活用ください!

【アクセス方法】

暮らしに役立つ福祉情報ガイド **検索**
 もしくは、
<http://fukushijyouhou.sasebo-shakyo.or.jp>
 にアクセスしてください。



【お問い合わせ先】

佐世保市社会福祉協議会
 〒857-0028 佐世保市八幡町6-1
 TEL0956-23-3174 / FAX 0956-23-3175
<http://www.sasebo-shakyo.or.jp/>

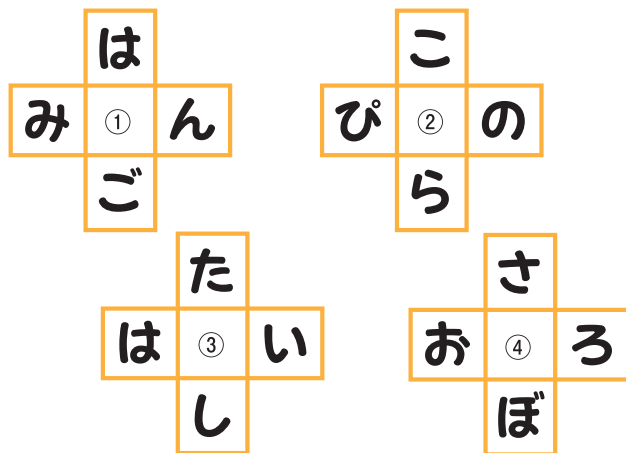
LET'S あたまのストレッチ



空欄にひらがなを入れ、4文字の単語を完成させてください。①～④をつなげたものが答えです。ハガキに氏名・住所・年齢・答え・社協だよりの感想・ご意見などを書いて社会福祉協議会へご応募ください。

抽選で15名の方に図書カードを差し上げます。

(応募先) 〒857-0028 佐世保市八幡町6-1
 佐世保市社会福祉協議会
 (締切り) 平成27年8月31日まで(必着)



前回の答えは「たすけあい」でした。277通ものご応募をいただき誠にありがとうございました。前回惜しくもはずれた方も、再チャレンジをよろしくお願いします。